

防災をめぐる国際機関のこれまでの経緯

石渡幹夫 国際協力専門員 国際協力機構

「男女共同参画と災害・復興ネットワーク」第3回勉強会
最近の国際的動向と今後の活動に向けて
～防災グローバルプラットフォーム参加報告を基に～

国際社会は長年に渡り救援を中心に活動してきた 事前の備えも含めた防災に焦点が当たった歴史は浅い

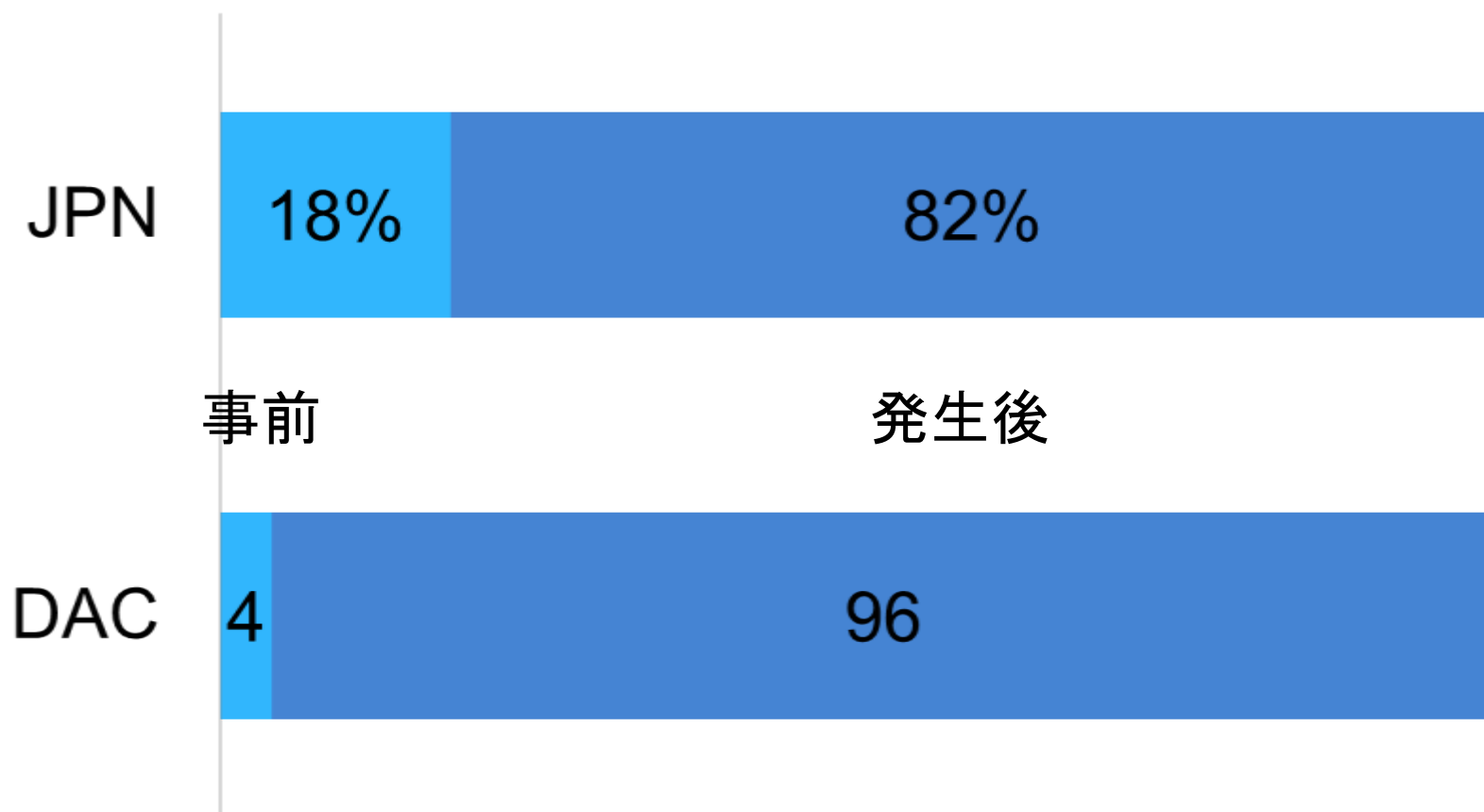
1. 歴史と概要
2. 救援
3. 防災
4. 世界銀行GFDRR

1. 歴史と概要

国際社会は長年に渡り救援を中心に活動してきた
 事前の備えも含めた防災に焦点が当たった歴史は浅い

	1950	60	70	80	90	2000	2010
国連 人道援 助調整	51UN HCR		71UN DRO		91 92DHA (OCHA)		16人道 サミット
防災					国際防災の 十年 94横浜会議 横浜戦略	00 ISDR設立 05 神戸会議 兵庫枠組 07 第1回GP	15仙台会議 仙台枠組
世界銀 行						06 GFDRR	11復興会議 12仙台会合
			70BAN サイクロン		95阪神淡路 大震災	04 インド洋 大津波	11東日本大 震災

多くの支援は発生後に



2. 国際社会は長年に渡り救援を中心に活動してきた

- 1951国連難民高等弁務官事務所の設立 (UNHCR): 難民保護の活動を継承
- 難民の地位に関する条約

- 1971年 《Office of the United Nations Disaster Relief Coordinator》国連災害救済調整官事務所
地震、干ばつなど世界各地の大規模な自然災害による被害への救援活動を目的。

人道問題調整事務所 OCHA

(Office for the Coordination of Humanitarian Affairs)

- 単一の機関の能力と任務を超える人道危機(災害や紛争)について
 - 各種機関が行う援助活動を調整
 - 人道情報の収集・管理・提供
 - 人道支援の政策立案
- 1991年、機関間常設委員会を設置
人道的危機での国際社会の対応調整
国連緊急援助調整官 (UN Emergency Relief Coordinator) 国連全体の主席政策顧問・調整官、 OCHAの長
- 92年DHA、97年OCHAと変更

3. 事前の備えも含めた防災に焦点が当たった歴史は浅い

年	国際機関の動き	特徴	わが国の主要な動き
■ 1990～99 ◇国際防災の10年 (IDNDR : International Decade for Natural Disaster Reduction)			
1990	国際防災の10年 (IDNDR) 発足	国際協調行動を通じた自然災害被害の軽減	
1994	国連防災世界会議 (横浜)	「横浜戦略」を採択 より安全な世界の為の行動計画	
1995			阪神・淡路大震災
1998			アジア防災センター (ADRC) 設立 (神戸市)
1999	国連国際防災戦略 (ISDR) の活動方針を国連総会で採択		

■2000～

◇国際防災戦略 (International Strategy for Disaster Reduction: ISDR)

2000

国連国際防災戦略
(ISDR) 事務局
及びタスクフォース 発足

災害後の対応中心から災害予防へ
災害対応力の強いコミュニティの形成の
明確化

2002

世界防災白書
Living with Risk 発刊

持続可能な開発における災害リスク軽減
の視点を盛り込む重要性を強調

持続可能な開発に関する
サミット (WSSD)
(ヨハネスブルグ)

「持続可能な開発に関するヨハネス
ブルグ宣言」と「ヨハネスブルグ実
施計画」を採択

国際防災・人道支援
協議会設立

災害に関わる多様な国際機関による
共同連合 (JICA 兵庫, ADRC, UNCRD,
UNOCHA, 人と防災未来センターなど)

UNISDR

2000年

1. 災害リスクについての知識の普及・啓発
 2. 災害防止に関する公的機関の主体的参画の促進
 3. 災害に強いコミュニティの形成に向けた地域住民の参画の促進
 4. 社会的経済損失の低減に向けた取り組みの強化
- 世界防災白書、GP、キャンペーン
 - プロジェクトは実施しない。あっても小規模

2003 ～ 2004	地域別、テーマ別 防災会議の実施 (プレイベント)	世界防災白書の議論を深めるため、世界各地で「地域別」、「テーマ別」会合実施	ODA 大綱改定
2005	国連防災世界会議 (神戸市)	兵庫宣言および兵庫行動枠組み (HFA) (2005-15) を採択	国連防災世界会議にて 「防災協力イニシアティブ」発表
	国際防災復興協力機構 (IRP) 設立	HFA の流れに沿った国際的な防災知識の 拠点、復興ネットワーク機能	政府開発援助に関する 中期政策発表
2006 ～	HFA 実現のための 具体的な活動 ガイドライン策定	ISDR その他の関係機関による ガイドライン策定の動き	アジア・アフリカ首脳会議での 支援表明

防災グローバル・プラットフォーム会合

- 2007年から2年毎に開催（2007、2009、2011、2013年）。今回は第5回目
- 国連防災戦略事務局（UNISDR）が主催
世界の防災関係者が一堂に会し、国際的な防災の推進状況を点検・評価する
- 数千人規模
- 政府間会議：閣僚会合



4. 世界銀行防災グローバルファシリティ (GFDRR)

- 2006年に設立
- ドナーの拠出に基づき世界銀行が管理する信託基金の一つ
- 災害の危険性の高い低・中所得国において、各国の開発戦略等に防災を中心的に位置づける取組みを支援する
- 開発の戦略および計画における災害リスク管理と気候変動リスク管理の主流化を目指す
- **世界銀行東京防災ハブ**
 - 途上国における防災の主流化のためのプログラムを支援。2014年「日本-世界銀行防災共同プログラム」(規模:1億米ドル、期間:5年間)
 - 日本の知見、技術、経験と途上国のニーズとのマッチングを促進する。

GFDRR: partnership for setting the global agenda in DRM



THE WORLD BANK

世銀の特徴ある分野

- 世銀防災プロジェクトの形成、技術支援
- 災害保険/ICTの活用
- PDNA: 災害後ニーズ評価

世界復興会議

- 世界銀行がEUやUNDPなどと共催
- 復興について議論する
- 参加者数は少ないが財務、計画省や大臣など高官が参加

- 2011年ジュネーブにて第1回、2014第2回ワシントン
- 2017 第3回ブリュッセル

国際社会は長年に渡り救援を中心に活動してきた 事前の備えも含めた防災に焦点が当たった歴史は浅い

	1950	60	70	80	90	2000	2010
国連 人道援助調整	51UN HCR		71UN DRO		91 92DHA (OCHA)		16人道 サミット
防災					国際防災の 十年 94横浜会議 横浜戦略	00 ISDR設立 05 神戸会議 兵庫枠組 07 第1回GP	15仙台会議 仙台枠組
世界銀行						06 GFDRR	11復興会議 12仙台会合
					95阪神淡路 大震災	04インド洋 大津波	11東日本大 震災

ありがとうございます

